

最終試験結果の要旨	
学位申請者 氏名	Tran Minh Hai
審査委員	主査 鹿児島 大学 教授 岩元泉
	副査 鹿児島 大学 准教授 李哉滋
	副査 琉球 大学 教授 内藤重之
	副査 鹿児島 大学 准教授 坂井教郎
	副査 佐賀 大学 教授 白武義治
審査協力者	
実施年月日	平成26年 1月 11日
試験方法 (該当のものを○で囲むこと。) <input checked="" type="radio"/> 口答 <input type="radio"/> 筆答	
<p>主査及び副査は、平成26年1月11日の公開審査会において学位申請者に対して、学位申請論文の内容について説明を求め、関連事項について試問を行った。具体的には別紙のような質疑応答がなされ、いずれも満足できる回答を得ることができた。</p> <p>以上の結果から、審査委員会は申請者が博士（農学）の学位を受けるに必要な十分の学力ならびに識見を有すると認めた。</p>	

学位申請者  
氏名

Tran Minh Hai

〔質問1〕北ベトナムと南ベトナムで農協の加入率、1農協当たりの組合員数が相当違うがどうしてか？

〔回答1〕まず歴史的要因があげられる。北では1975年までソ連型の合作社体制であった。その後新農協になってもそれが引き継がれ、農協への出資をせずに名目的な組合員になっているものが多いことが違いとなっている。

〔質問2〕スライド44で農協組合員の米の収量が非組合員よりも低くなっているのはなぜか？

〔回答2〕非組合員は従来の多収型の品種を使っている。組合員は政府から供給された高品質品種を使っているので収量は低くなっている。しかし価格が高いうえに、資材も農協から供給されコストも低いので収益は組合員の方が高くなっている。

〔質問3〕高品質品種とは？

〔回答3〕政府が推奨している品種で、長粒で、色が白く、茶色のシミがつかず、香りのよい品種で価格が高い。

〔質問4〕なぜ1986年以降旧農協は破綻したのか？

〔回答4〕旧農協は合作社であり、幹部は公務員だった。従って政府の指示によって活動しており、1986年以降の市場経済に対応できず破綻していった。

〔質問5〕スライド67で農協の発展戦略を三段階で示しているが、どうして一挙にできないのか？

〔回答5〕第1段階と第2段階は現在も進められているがメコンデルタの農協は小さくまたメンバーも少ない。従って活動を大きくできない。それで政府が支援を行っている。それが成功していくと農家の信頼を獲得でき、農協への加入も向上するので、第3段階の活動の多角化、生活関連事業へと進むことができる。

〔質問6〕コンバイン作業や灌漑事業は農協の請負事業として行っているのか？

〔回答6〕その通りである。農家個別にはコンバインなどは買えない。

〔質問7〕スライド52における成功の基準はなにか？

〔回答7〕政府は全国100成功農協や200ベスト協同組合の表彰を行ったが、実は明確な基準はない。本研究では、農協の加入率は収益性の他に、事業を多角化していること、生活関連事業を行っていることなど、タイや日本の事例を見て、成功の基準を設定して分析を行った。

[質問 8] 農業の成功と不成功を分ける要因は何か？

[回答 8] 最も重要なのは農協の管理者の教育水準だと思う。政府は多くの支援事業を提供しているが、それに応募する計画作成や書類作成能力などをもっているかどうか重要である。

[質問 9] なぜベトナム政府は農協を重要だと考えているのか？

[回答 9] ベトナムは社会主義国であり、協同組合セクターを重視している。WTO、TPP、AFTAなどグローバル化に直面しているが、ベトナムの農家は小規模であり個別農家では国際競争に勝てない。そこで協同組合モデルを構築することで世界市場における競争に立ち向かおうとしている。